

京都芸術 センター 通信



NOVEMBER
2020
VOL.246

11

発行：京都芸術センター 2020年10月20日



カテゴリーB TRA-TRAVEL『ポストLOC時代の』
Mark Salvatus (Pressure with Pleasure)



カテゴリーB TRA-TRAVEL『ポストLOC時代の』
Yukawa-Nakayasu (Dear)



カテゴリーD HixTO[raw-精神と肉体の展覧会] 撮影：松田ミナカ



カテゴリーD ソノノチ『たちまちの流』 撮影：脇田友(スピカ)

Co-program2021 募集

京都芸術センターは、ジャンルを問わない若い世代の芸術家の制作活動の支援を理念の一つに掲げています。多様な挑戦の機会として、京都芸術センターの制作室を創作の場として利用できる「制作支援事業」や、制作室の提供とロームシアター京都での発表がセットになった「KIPPU」、そして今回特集するCo-program(コープログラム)などがあります。

その中でも、2017年より始まったCo-programはアーティストとの連携を強化している点が特徴で、創作・発表の幅をさらに広げることに注力し、意欲的な企画を毎年公募しています。募集は支援内容や分野に応じ、4つの枠—公演を行うカテ

リーA「共同制作」、展覧会を行うカテゴリーB「共同開催」、リサーチやワークショップを行うカテゴリーC「共同実験」、そして、P3で紹介しているカテゴリーD「KACセクション」を設けています。

カテゴリーA、B、Cではアーティストのアイデアを形にするために、企画段階からディスカッションを重ね、京都芸術センターは運営や実施に至るまで伴走します。その協働の方法はアーティストや企画によって様々で、稽古や試作の段階で意見交換を行った後、制作過程で行き詰まったときの相談相手になるなど、その都度アレンジして取り組んでいます。

発表に注力して取り組みたい方はカテゴリーA、

Bに応募し、実験的な取り組みを行いたい方や興味のあるテーマをより深くリサーチしたい方は、カテゴリーCに応募することで集中的に取り組めます。そこでの成果を踏まえ、次年度以降にカテゴリーA、Bに応募することもできます。カテゴリーDは、作品のプランが明確で、かつ発表会場が京都芸術センターでなければならないと考えられる企画を積極的に採択しています。

各カテゴリーの具体的な支援内容や応募方法については、ウェブサイトをご覧ください。皆様からの意欲的で熱いプランをお待ちしています！

※2021年度募集要項は11月上旬公開予定



カテゴリーA MuDA『立ち上がり続けること』 撮影：井上嘉和



カテゴリーB 『Tips』展 撮影：三野新



カテゴリーC 山内朋樹+池田剛介『変動する庭／変動させる庭』

アートの現場を支える

「京都市文化芸術 総合相談窓口」

京都芸術センターは、これまで制作支援事業やCo-program、アーティスト・イン・レジデンスなど様々な形で、アーティストを支援してきました。現在は新型コロナウイルス感染症拡大にともない打撃を受けたアーティストらに対してこれまでとは異なる形の支援を京都市と共にしています。



「文化芸術関係者向け京都府・京都市合同相談会」(9月20日(日))の様子

緊急事態が宣言された4月以降、活動機会を失ったアーティストや文化芸術関連の事業者や従事者の活動を支えるため「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う京都市文化芸術活動緊急奨励金」の受付および相談業務を受託しました。また、ニーズを明らかにするため「京都の芸術家等の活動状況に関するアンケート調査」を行い、多くの文化芸術関係者が苦境に立たされている現実を浮き彫りにしました。

その後、全国で第2波への懸念が広がりがつつあった7月末には「京都市文化芸術総合相談窓口」を開設。専門の相談員も3名配置し、9月末までに300件を超える相談を受けました。主な相談内容としては先述の緊急奨励金による活動に関するもののほか、文化庁が7月から募集を開始した「文化芸術活動の継続支援事業」の申請にかかるものが多数を占めました。「海外から帰ってきて今後の活動について悩んでいる」、「度重なる公演の延期で苦境に立たされている」など、どこに何

を相談すればいいのかわからずにご連絡をいただくこともありました。他にも「高齢者施設で演劇公演をしたいがどうしたらよいか」や、アーティストではなく市民の方から「芸術家を支援したいがどのように寄付をしたらよいか」といった相談も寄せられています。

9月20日には「文化芸術関係者向け京都府・京都市合同相談会」を実施し、60名の相談に応じたほか、先述の文化庁事業の「申請書の書き方サポート」相談会を2回実施してきました。今後も個別あるいはオンライン等での相談会の実施を予定しています。

現場のアーティストと文化政策の間をつなぐため、京都芸術センターではこれまでの作品創作や発表の支援に加え、相談窓口として話を伺うことによって日々の創作や発表活動に寄り添い、アーティストや研究者、テクニカルスタッフなど文化芸術活動に関わる方々と協働します。

【関連情報】

感染症拡大防止と文化芸術活動の 両立支援補助金

文化芸術関係者の活動再開・継続を支援するため「A.施設使用料や付帯設備使用料」、「B.感染症拡大防止に必要な経費」を対象に、補助金を交付します。

受付期間:

2020年10月19日(月)～2021年2月28日(日)

※予算の上限に達し次第、受付を終了します。

※詳細はウェブサイトをご確認ください。

https://www.knt-ks.co.jp/ec/2020/kyoto_subsidy/

「両立支援補助金」係

E-mail: ryoritsu@kyotoartsupport.com

TEL: 075-213-0213(平日10:00～17:00)

京都市文化芸術総合相談窓口

E-mail: ask@kyotoartsupport.com

TEL: 075-252-2162(10:00～18:00)

※京都芸術センター臨時休館日・年末年始休館日を除く



京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えました！

テーマは“We Age”
(ウィー・エイジ)

(ロゴデザイン: 松本久木)



最新情報はウェブサイトでご確認ください。

公式ウェブサイト | <https://www.kac.or.jp>


[kyotoartcenter](#)


[@Kyoto_artcenter](#)


[@kyotoartcenter](#)

20周年記念グッズ紹介

京都芸術センター開設20周年を記念し、オリジナルグッズを作成しました。窓口にて販売しておりますので、お手に取ってご覧ください。

- ステッカー…200円
- ノート…400円
- [数量限定]ピンバッジ…1,300円
- 風呂敷(赤・青)…1,200円

※すべて税込

販売: 京都芸術センター窓口
(10:00～20:00)



京都芸術センター KYOTO ART CENTER

交通案内

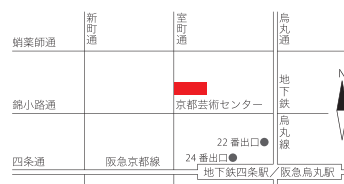
- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

- ギャラリー・図書室・
情報コーナー・チケット窓口 10:00～20:00
- カフェ(改装工事のため10月1日まで閉店)
- 制作室・事務室 10:00～22:00

休館日 12月28日から1月4日

※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004
E-mail: info@kac.or.jp

指定管理者: 公益財団法人京都市芸術文化協会